

事例2

< 事例概要 >

①30 歳代後半/ 経産婦/ 自然妊娠。

②妊娠経過特記なし。

③妊娠 40 週に誘発目的で入院。陣痛促進薬と子宮頸管熟化薬を併用して点滴投与。子宮口全開大するが回旋異常を認め、クリステレル胎児圧出法と吸引分娩を 5 回以上実施し、経膣分娩で児娩出。重症新生児仮死のため、新生児蘇生を実施。児娩出から約 30 分後に母体の多量出血を確認。児娩出から約 1 時間後、出血量 3,000 mL 以上、母体搬送依頼。搬送までの出血量は計 4,000 mL 以上。

児娩出から約 2 時間後、搬送先到着。到着直後に心停止、赤血球液・新鮮凍結血漿の投与を開始。到着より約 1 時間半後に、子宮摘出術および膣壁裂傷縫合術を実施。児娩出から約 3 週間後に死亡（児も死亡）。

④産道裂傷（会陰Ⅳ度裂傷）。

⑤解剖有、死亡時画像診断（Ai）無。